長谷工コーポレーション
ホームページへ

２００９年１０月８日

「2009 年シルバーウィークのマンション販売状況」
首都圏は今年のＧＷに引き続き堅調。近畿圏は申込が大幅増
～長谷工アーベスト販売受託物件分析より～

㈱長谷工アーベスト（本社：東京都港区、社長：岡　正徳）が販売受託した新築分譲マンションを対象に、2009 年秋の大型連休（9 月 19 日～9 月 23 日、通称：シルバーウィーク（以下、ＳＷ））における販売状況を集計・分析しました。

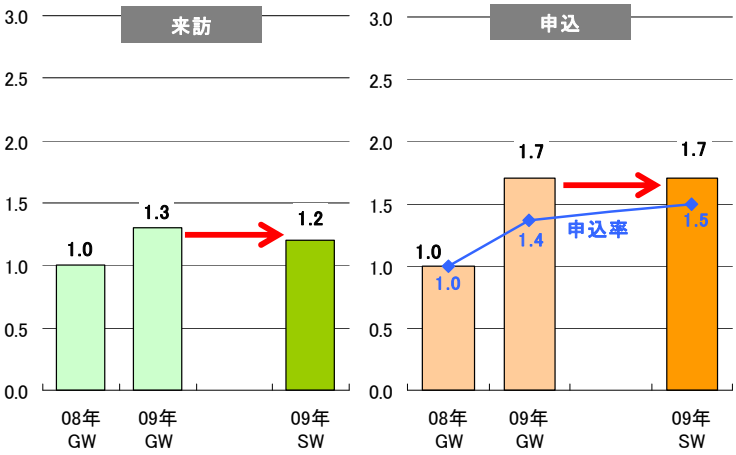
2009 年春の大型連休（5 月 2 日～5 月 6 日、通称：ゴールデンウィーク（以下、ＧＷ））と比較した結果は以下の通りです。

【マンション販売状況（棟当り来訪、申込・申込率）】

※‘08 年ＧＷを「１」とした場合の指数より（申込率は申込件数÷来訪件数）

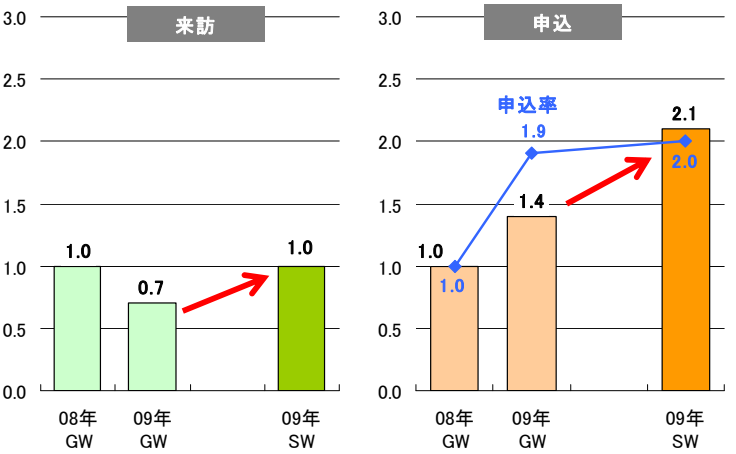
【首都圏】
○来訪件数：ほぼ横ばい、
申込件数：横ばい、申込率：僅かに上昇

・首都圏の来訪件数は、‘09 年ＧＷに比べほぼ横ばいとなっています。
又、申込件数は横ばい、申込率については僅かながら上昇しており、‘09 年ＧＷに続き、堅調な販売状況となりました。
・‘09 年ＳＷの来訪件数、申込件数・申込率は、共にリーマンショック以前の‘08 年ＧＷ水準を上回っています。



【近畿圏】
○来訪件数：増加、
申込件数：大幅増加、申込率：僅かに上昇

・近畿圏の来訪件数は、‘09 年ＧＷに比べ増加し、‘08 年ＧＷ水準に回復しています。
又、申込件数は大幅に増加し、申込率についても僅かながら上昇しています。
・‘09 年ＳＷは、特に申込件数が大きく伸びており、首都圏に比べ遅れていた価格の調整感が浸透してきた結果と思われます。



（集計対象：長谷工アーベストが販売受託した新築分譲マンション。‘08ＧＷ：首都圏 36 棟、近畿圏 29 棟、‘09ＧＷ：首都圏 37 棟、近畿圏 26 棟、‘09ＳＷ：首都圏 28 棟、近畿圏 27 棟）

以上のように、世帯年収の減少、先行き不安感などにより、生活環境は厳しい状況ではあるものの、実需に基づいた住宅取得ニーズは依然として高く、首都圏に比べお客様の動きが慎重だった近畿圏においても、価格調整の進捗により、お客様の動きは活性化される事が確認できました。

マンショントップメーカーの長谷工グループは、これまで蓄積してきた技術やノウハウ、お客様の声をもとに、安全・快適で魅力あるサービスや商品を備えた品質の高いマンションを創造し、需要の顕在化に今後も努めてまいります。